

令和6年度 富士見市下水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道事業においては、主たる収益である使用料収入は前年度と同水準と見込んでいる。しかしながら、長期的には人口の減少により使用料収入の減少が懸念され、今後増大する老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する災害への対応に多額の費用が必要となることが見込まれる。

令和6年度の公共下水道汚水事業については、計画的な修繕・改築等を行うストックマネジメント計画に基づき管渠更生工事等を実施するとともに、ポンプ施設等の更新工事を実施する。また、南畑地区について生活環境の向上や水質保全を目的に管渠整備を図るほか、第2期ストックマネジメント計画策定のためのカメラ調査や総合地震対策計画に基づく管路施設の耐震診断調査を実施する。

次に、公共下水道雨水事業については、別所雨水ポンプ場及び桜井雨水ポンプ場の更新工事などを実施する。

今後も安全・安心の確保と快適な生活環境・水環境の向上、下水道事業の持続に資するため、施設の計画的な整備と維持管理に努め、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

(2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は前年度比0.2%増の18億3,044万1千円、支出は前年度比1.1%増の16億9,937万2千円で、収支差引で1億3,106万9千円の黒字を見込んでいる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は前年度比11.8%減の9億1,049万9千円、支出は前年度比5.6%減の16億658万5千円となり、収支差引では6億9,608万6千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

○ 営業収益

下水道使用料は、微減となるものの、前年度とほぼ同水準の10億2,260万8千円とした。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比11.5%増の3億5,735万円とした。

その他の営業収益は、193万5千円とした。

○ 営業外収益

受取利息は、6万2千円

他会計補助金は、5,300万円

長期前受金戻入は、3億8,122万6千円

雑収益は、179万6千円

消費税還付金は、1,246万3千円とした。

○ 特別利益

過年度損益修正益は、1千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比7.6%減の8億1,460万円

国庫(県)補助金は、前年度比53.4%減の5,460万円

負担金は、受益者負担金及び他会計負担金として一般会計からの負担金等を前年度比24.6%増の4,129万9千円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

○ 営業費用

① 管渠費は、管渠等の維持管理に要する経費で、主に修繕費、工事請負費、委託料、負担金等で前年度比2.0%減の6億1,802万5千円とした。

【主な支出】

- ・維持管理、監視業務、管路施設耐震診断及び雨天時浸入水対策の業務委託等
1億1,819万3千円
- ・ポンプ、その他修繕等
1,542万8千円
- ・浚渫工事等
2,131万円
- ・荒川右岸流域下水道維持管理負担金等
4億3,027万8千円

② 業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比2.8%増の6,334万5千円とした。

【主な支出】

- ・下水道使用料徴収事務委託等
5,518万5千円

③ 総係費は、下水道事業の総括的な経費で、前年度比18.0%増の3,722万6千円とした。

【主な支出】

- ・公営企業会計システム更新業務委託等
392万4千円
- ・下水道協会負担金等
207万7千円
- ・貸倒引当金繰入額
183万4千円

④ 減価償却費は、構築物などの減価償却費として、8億7,651万5千円とした。

⑤ 資産減耗費は、構築物等の固定資産除却費として、2,181万5千円とした。

○ 営業外費用

① 支払利息は、前年度比2.2%減の8,083万1千円とした。

② 雑支出は、30万円とした。

○ 特別損失

① 過年度損益修正損は、55万円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

○ 建設改良費

① 建設総係費は、建設改良に伴う事務費等の経費で、前年度比6.9%増の9,123万3千円とした。

② 公共下水道建設事業費は、前年度比30.6%増の8億1,606万2千円とした。

【主な支出】

委託料 2億4,721万円

・別所雨水ポンプ場更新工事委託

（令和4～6年度継続費・発電機）

・下水道ストックマネジメント計画策定業務委託

・公共下水道管渠調査業務委託

工事請負費 5億5,844万円

・管渠更生工事、管渠布設替等工事

・水谷東ポンプ場更新工事、出口ポンプ場更新工事

・桜井雨水ポンプ場更新工事

・流域接続点ゲート更新工事

・下水道施設改築・修繕工事

③ 特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比79.3%減の6,718万6千円とした。

【主な支出】

工事請負費 4,512万円

・新河岸第16-1-1汚水管渠築造工事・舗装本復旧工事

④ 流域下水道事業費は、前年度比8.1%減の8,786万9千円とした。

【主な支出】

負担金 8,786万9千円

・荒川右岸流域下水道事業建設負担金

○ 償還金

企業債償還金は、前年度比4.5%減の5億4,323万5千円とした。

・公共下水道償還金 3億4,333万1千円

・流域下水道償還金 6,793万8千円

・特定環境保全公共下水道償還金 1億3,196万6千円

企業債の令和6年度末未償還残高は、76億9,638万5千円となる見込みである。

■令和6年度富士見市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業収益			1,830,441	3,081
営業収益			1,381,893	38,427
下水道使用料			1,022,608	△ 236
他会計負担金			357,350	36,863
その他の営業収益			1,935	1,800
営業外収益			448,547	△ 35,346
受取利息			62	0
他会計補助金			53,000	△ 44,000
長期前受金戻入			381,226	19,721
雑収益			1,796	0
消費税還付金			12,463	△ 11,067
特別利益			1	0
過年度損益修正益			1	0

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用			1,699,372	19,036
営業費用			1,617,191	20,829
管渠費			618,025	△ 12,423
業務費			63,345	1,731
総係費			37,226	5,669
水洗化促進費			265	0
減価償却費			876,515	27,537
資産減耗費			21,815	△ 1,685
営業外費用			81,131	△ 1,793
支払利息			80,831	△ 1,793
雑支出			300	0
特別損失			550	0
過年度損益修正損			550	0
予備費			500	0
予備費			500	0

■ 令和6年度富士見市下水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 収 入	910,499	△ 121,494
	企	業 債	814,600	△ 67,000
		企 業 債	814,600	△ 67,000
	国庫(県)補助金		54,600	△ 62,650
		国庫(県)補助金	54,600	△ 62,650
	負 担 金		41,299	8,156
		負 担 金	41,299	8,156

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 支 出	1,606,585	△ 95,664
	建 設 改 良 費		1,062,350	△ 69,903
		建 設 総 係 費	91,233	5,852
		公 共 下 水 道 道 費	816,062	191,250
		建 設 事 業 費		
		特 定 環 境 保 全 公 共 費	67,186	△ 257,580
		下 水 道 建 設 事 業 費		
		流 域 下 水 道 事 業 費	87,869	△ 7,725
		固 定 資 産 購 入 費	0	△ 1,700
	償 還 金		543,235	△ 25,761
		企 業 債 償 還 金	543,235	△ 25,761
	予 備 費		1,000	0
		予 備 費	1,000	0